
東方鬼神録 ~ boy's growth record ~

橋姫

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

東方鬼神祿 boys growth record

【Nコード】

N9473P

【作者名】

橋姫

【あらすじ】

これは、一人の少年が幻想に触れて 鬼に、『鬼神』にへと変わっていく過程の物語である。

・・・それと共に、少年が人として、『人間』として成長していく過程の物語である。

よくよくある幻想入りの二次創作物です。

基本はオリキャラを使った異変を中心にストーリーを進めていく事

になると思います。

知識不足によるキャラ崩壊や「こんなの　じゃねえ!」「など
ありますでしょうがどうか寛大な心で見守ってやってください。

まず最初に

これは、一人の少年が「最高の鬼神」へといたるまでを綴った物語となる。・・・はず、かな？

よくよくあるオリジナルキャラクターが幻想入りして活躍する、という二次創作SSになります。まずそういうのが駄目な人は申し訳ありませんがお帰りください。

あまり原作知識に自信が無い事もあり、オリキャラを用いた異変物になるとおもいます。（予定は未定、ですが）

さてさて、ではまだまだ拙い文章ではありますがヨロシクお願いいたします。

序章へ入りは少し意味深な方がいい、のかな？（前書き）

これが処女作の一発目になります。

どうかおおらかな心構えで見ただけだと有りがたいです。

序章へ入りは少し意味深な方がいい、のかな？

さて、いきなりで申し訳ないんだけど・・・一つ質問したい事がある。

皆は、夢を見ていて

「あっこりや夢だ」

って自分で知覚できる夢を見たことがあるだろうか？

・・・俺は、ある。つーかここ数ヶ月近くその夢しか見ていない。その肝心の夢の内容はというと、テレビに出てくるアイドルなんか目でもないくらいの美人と、俺に似た冴えない奴が抱き合っているシーンである。

これだけ聞くと

「お前、欲求不満か!？」って突っ込みが帰ってきそうなんだけど・・・違うのだ。

確かにそれだけの事だったら翌朝目が覚めて有頂天、のち素に戻ってテンションがた落ち。

・・・そんな所なんだろうが、どうにもその夢が意味深なのだ。なんとというか空気が重いのだ、まるで今から今生の別れでもするよな・・・。

しかも腹立たしい事に、この二人が何か喋っているようなのに何を話しているのかまったく聞こえないのだ。

『

』

「まったく、俺の夢なんだろう？ だったらそれくらいの融通効かせるよ！」

『 さ き ろー！ 』

「そつだよ、夢つつつのはそりゃ古今無形なもんなんだろうけど、こんな夢、納得できるかよ……っ！！」

『 酒崎……おんか 』

「こんな、こんな、こんな辛い夢……！！」

『酒崎く！！！起きんか！！！！』

ばちこくっん！！！！

「あんぎやつ！！！？」

後頭部の鋭い痛みに飛び上がる・・・と、周りから聞こえるクスクス笑い。そして俺の隣で鬼の形相で俺を睨んでくる古文の先生。

・・・あれ、もしかして俺授業中に寝てました？

「酒崎く・・・私の受け持ちの授業中に居眠りするとはいい度胸じゃないか？」

「やつ・・・先生、まず落ち着きましょう？とりあえず暴力に訴えるのは如何なものでしょうか？」

「ああ、勿論だとも。教育の場で暴力に訴えるような旧時代的な事

は私とて出来るならば避けたい所だよ？

・・・酒崎、とりあえず放課後に私の所に来なさい」

とってて古文の先生は、蕩けるくらいのベストスマイルを俺に向けて教卓へと戻っていった。

・・・誰が言ったか知らないが「笑顔は本来、攻撃的な表情である」とか言ったららしい。

・・・つまり、俺が何が言いたいかというと

「・・・めっちゃ・・・怖かった」

「・・・やっと、見つけた」

遙か遙か、空の上。『人』では至ることの出来ない場所にその『女性』はいた。

意味深な微笑みを浮かべ、手に持った扇子をパチリと閉じると、まるでその空間が切り開かれたように出来ていた『隙間』が何事もなかったかのように閉じる。

「貴女との約束、守れそうよ」

『・・・』

そう呟くと、彼女自身も空間に出来ていた『隙間』同様に姿を消した。

序章へ入りは少し意味深な方がいい、のかな？（後書き）

どうだったでしょうか？

主人公の名前すら明かさないと意味深（能力不足垂れ流し）状態です。

とりあえず、次回にて本格的に幻想入りしていく予定ですので幻想入り後にも主人公のプロフィールを書いていきたいと思えます。

まだまだ初心者な作者です。批判、酷評なんでも構いませんので感想を頂けると、小説の糧になりますので、皆様よろしく願います。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9473p/>

東方鬼神録 ~ boy's growth record ~

2011年1月8日20時02分発行